

## **健康・長寿将来構想会議**

(「ふじのくに」みらい共育センターとの共催事業)

**「健康経営」と地域の社会・経済**

**～地域課題の解決にどう結びつけるか～**

## **Meeting for the Future Design of Health and Longevity**

(Collaboration with Center for "Center of Community"

Project in the University of Shizuoka)

**Health Management for the Regional**

**Community and Economy**

### **座 長**

Chairperson

**西野 勝明 (静岡県立大学 経営情報学部 特任教授・**

**「ふじのくに」みらい共育センター 副センター長)**

Katsuaki Nishino (Research Professor, School of Management and Information,

University of Shizuoka / Deputy Director, Center for "Center

of Community" Project in the University of Shizuoka)

**竹下誠二郎 (静岡県立大学 経営情報学部長・教授)**

Seijiro Takeshita (Dean / Professor, School of Management and

Information, University of Shizuoka)

# 日本一健康文化都市ふくろい ～「市民がともに進める」健康寿命の延伸～

原田英之／袋井市長

## はじめに

袋井市は、平成17年の合併後、市制施行5周年を機に改めて「日本一健康文化都市」を宣言し、平成27年には、市民、地域団体、事業所等と行政が協働により、健康なまちづくりをともに進めていくため、袋井市総合健康センターを設立し、その翌年には、「日本一健康文化都市条例」を制定しました。

今回、これまでの様々な健康づくりの取組から3件を取り出して、紹介します。

### 1 「日本一健康文化都市ふくろい」について

「健康文化」とは、平成4年に厚生労働省の健康文化都市推進会議において、日本独自の「健康文化」という言葉を創作し、新しい健康観を「健康とは単なる疾病にかかっていないということではなく、充実した日常生活を送り、自己実現を達成するための最適な状態」と定義されました。この様な状態のまちを目指し、まちづくり、市政全般として「健康文化都市」を標榜し、「からだの健康」、「こころの健康」、「社会の健康」の中に全ての部局の施策を取り入れ、「心と体」、「都市と自然」、「地域と社会」が良好な状態を健康とした満足度の高いまちを目指してきました。

### 2 フッピー健康ポイント事業（健康マイレージ）

本事業は、「健康チャレンジ!!すまいる運動」として、平成18年度から健康的な生活習慣を身に付けるための市民運動（だれもが取り組むことができる活動）としてスタートし、翌年度には、「健康マイレージ制度」を導入して、運動や食に関する取組をポイント化して公共サービス券等と交換できる制度としました。以降、寄附制

度の導入やインターネット・メール機能を活用した「e-すまいる」の導入等を経て現在に至り、毎年約2,000人が参加しています。事業実施から10年が経過したことから、本年度は、働き盛り世代からの健康づくりに重点を置き、「歩く」ことに着目し、スマートフォンを使った歩数カウントをポイント化する新システムの開発に着手し、開発後は健康経営を推進するための手法の一つとして、このアプリケーションソフトの活用を市内の多くの企業の従業員に勧めていく予定です。

### 3 袋井市総合健康センターの設立

袋井市では、旧袋井市民病院（400床）が旧掛川総合病院（450床）と統合し、中東遠総合医療センターが設立されたことを機に、その跡地を利用し、保健、医療、介護、福祉が連携したサービスを展開する地域完結型の健康支援を行う拠点施設として、平成27年に「袋井市健康総合センター」を設立しました。

この組織は、市長部局の健康づくり、介護、福祉分野及び袋井市社会福祉協議会、医療機関である聖隷袋井市民病院（150床）で構成され、保健・医療・介護、福祉の窓口を集約し、それぞれの分野が連携して子どもから高齢者まで、全ての年代で途切れることなく、市民の生涯を通じた心と体の健康づくり全てを担っています。

また、この様な市の取組が評価され、「第5回健康寿命をのぼそう！アワード」の生活習慣病予防分野及び介護予防・高齢者生活支援分野の2部門で「優良賞」を受賞しました。2部門での同時入賞は全国初となります。



## 原田 英之／袋井市長

学歴	職歴	1967年3月	東北大学法学部卒業
		1967年4月	静岡県採用
		1984年2月	静岡県ロサンゼルス駐在員
		1991年4月	静岡県企画調整部国際交流課長
		1993年4月	静岡県総務部税務課長
		1994年4月	静岡県企画調整部企画調整課長
		1995年4月	静岡県企画部次長
		1997年4月	静岡県首都圏担当局長兼東京事務所長
		1999年4月	静岡県健康福祉部長
		2000年12月27日	静岡県退職
		2001年1月15日	旧袋井市長1期（平成13年1月14日～平成17年1月13日任期満了）
		2005年1月15日	旧袋井市長2期（平成17年1月14日～平成17年1月31日合併により失職）
		2005年4月24日	袋井市長1期
		2009年4月24日	袋井市長2期
		2013年4月24日	袋井市長3期
		2017年4月24日	袋井市長4期

Academic Background March 1967

Positions held: April 1967

February 1984

April 1991

April 1993

April 1994

April 1995

April 1997

April 1999

January 15 2001

January 15 2005

April 24 2005

April 24 2009

April 24 2013

April 24 2017

Graduated from Tohoku University Faculty of Law

Appointed to Shizuoka Prefectural Office

Representative of Shizuoka Prefecture Los Angeles office

Shizuoka Prefecture, Project Coordination Department International Exchange Section Manager

Shizuoka Prefecture, General Affairs Department Taxation Division Manager

Shizuoka Prefecture, Project Coordination Department Project Coordination Section Manager

Shizuoka Prefecture, Assistant Director of the Planning Department

Shizuoka Prefecture, Bureau Director of Tokyo area and Head of Tokyo Office

Shizuoka Prefecture, Director of Health and Welfare (Resigned 27 December 2000)

Former Fukuoi City Mayor First Term, Office Term January 14 2001 - January 13 2005 (End of term in Office.)

Former Fukuoi City Mayor Second Term, Office Term January 14 2005 - March 31 2005 (End of term -

Integration of Asaba Town into Fukuoi.)

Fukuoi City Mayor First Term

Fukuoi City Mayor Second Term

Fukuoi City Mayor Third Term

Fukuoi City Mayor 4th Term

# 花王における「健康経営」の取り組み

## ～健康宣言を起点にPDCAサイクルでヘルスリテラシーの高い社員づくりへ～

児玉成志／花王株式会社 人財開発部門 健康開発推進部長

花王は、社員が健康であって初めて“よきモノづくり”が実現でき、会社が発展し、社会に貢献できるという考えのもと、2008年に「花王グループ健康宣言」を発行しました。現在は、「ヘルスリテラシーの高い社員を増やす」ことを目標に、PDCAサイクルで本人の健康度を上げていく「健康経営」に取り組んでいます。

健康課題の改善に向けては、事業主、健康保険組合、産業保健スタッフ、外部専門家による協力体制を構築し、組織的に活動しています。また、健康データの経年比較を、事業場・支社別、年代別、職種別などの視点から行ない、エリアの特性に応じた健康づくりを進めています。さらに、エリアごとの施策におけるベストプラクティスを全社で共有し、横展開で取り組みを

拡大しています。

花王における健康づくりは、会社として最低限行なすべき「健康管理」のみならず、社員が自ら健康を維持増進することを「健康づくり」として位置づけ、5つの取り組みを中心に実施しています。5つの取り組みとは、1. 生活習慣病 2. メンタルヘルス 3. 禁煙 4. がん 5. 女性の健康 です。

さまざまな生活習慣改善施策によって、2015年度の特定保健指導対象者は、2008年度と比較した場合に、男性が10.4%、女性が2.4%減少しました。

花王は、今後も社員の心身の健康維持に努め、消費者と顧客の立場にたった“よきモノづくり”で、世界の人々の豊かな生活文化の実現に貢献してまいります。



### 児玉 成志 / 花王株式会社 人財開発部門 健康開発推進部長

略歴	1983年3月	中央大学 法学部 法律学科 卒業
	1983年4月	花王石鹼株式会社（現 花王株式会社）入社
	2006年3月	広域事務G・勤労 部門人事部長
	2010年5月	花王ロジスティクス株式会社 人材開発センター 統括
	2012年5月	花王ロジスティクス株式会社 取締役 人材開発センター 統括
	2014年4月	人財開発部門 健康開発推進部長（現任） （兼務）花王健康保険組合 常務理事 （兼務）花王グループ企業年金基金 常務理事
	2016年1月	人財開発部門 健康開発推進部長（現任） VP, HCD - Employee Health Care,JP （兼務）花王健康保険組合 理事長 （兼務）花王グループ企業年金基金 常務理事
Past Records	1983 :	Graduate from Chuo university
	1983:	Joins Kao Soap Co., Ltd. (currently Kao Corporation)
	2006:	Appointed general manager of Personnel Affairs Dept., Labor Div., Wide Area Administration Group
	2010:	Appointed control manager of Human Capital Development Center, Kao Transport & Logistics Co., Ltd.
	2012:	Appointed director and control manager of Human Capital Development Center, Kao Transport & Logistics Co., Ltd.
	2014:	Appointed general manager of Health Development & Promotion Dept., Global Human Capital Development (to present), managing director of Kao Health Insurance Society, and managing director of Kao Corporate Pension
	2016:	Appointed general manager of Health Development & Promotion Dept., Global Human Capital Development (to present), president of Kao Health Insurance Society, and managing director of Kao Corporate Pension

# しずおか “まるごと” 健康経営

土屋厚子／静岡県健康福祉部 理事（健康経営推進担当）

静岡県では、1996（平成8）年に静岡州市町村別健康指標（I）を発行以来、毎年、人口動態統計や健診データによる静岡県下の市町村別の健康指標の算定及びマップ化等を行っています。これにより静岡県の死因からみた最重要課題は、脳血管疾患対策であることなどが明らかになっています。また、2014（平成26）年度、35の市町国保、協会けんぽ、40の健保組合、5国保組合、4共済組合との連携体制を構築し、合計65万人の健診データを用いて健康課題を地区毎に分析し、県や各市町、保険者が保健事業を企画する際の重要な基礎資料としています。

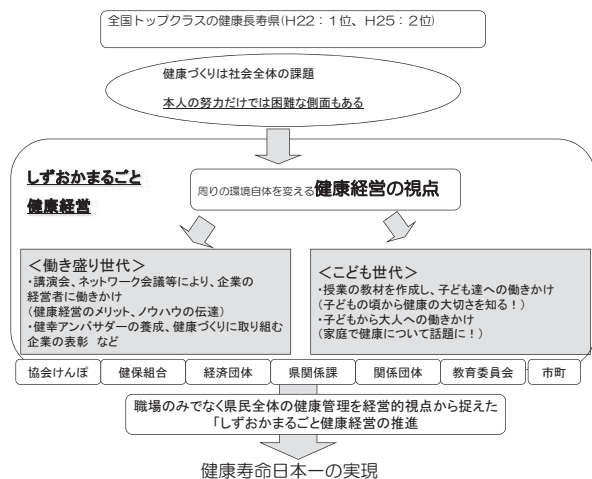
静岡県では脳血管疾患での死亡等を減少させるため、5年で5%の減塩を目指す「減塩55プログラム」や運動、食生活、社会参加の3分野について、3人1組で3ヶ月間、健康づくりを実践する「ふじ33プログラム」を保健師、栄養士、運動指導士などの多職種チームで展開しています。「ふじ33プログラム」は、市町や企業などに広がっています。

更に県民の健康寿命を延伸するため、今年度より、「静岡県で“暮らす”“働く”“育つ”と元気になる～働いてよし、住んでよし～」をコンセプトに、企業の経営手法である『健康経営』の視点を取り入れ、地域、事業所、家庭における健康づくりを推進する「しずおか“まるごと”健康経営」を展開しています。今年度は、その初年度であり、キックオフイベントや

健幸アンバサダーの養成、食生活、運動、社会参加の3要素を取り入れた子ども向けの生活習慣病予防の新たな学習教材を開発しています。

※「しずおか“まるごと”健康経営」とは

「健康経営」の考え方にに基づき、企業（職域）のみでなく、地域や県全体を対象と捉え、主に働き盛り世代の生活習慣病予防対策と、子どもの頃からの健康づくりをすすめ、県民の7割と言われている無関心層への働き掛けを強化する取組を展開するものである。



※健康経営…NPO法人健康経営研究会登録商標



土屋 厚子／静岡県健康福祉部 理事（健康経営推進担当）

略 歴 平成56年より、静岡県保健師として採用され、下田、磐田、天竜保健所などに勤務  
平成17年より、静岡県疾病対策室に勤務  
平成20年より、県庁健康増進課に勤務  
平成29年より現職  
○平成24年度「第1回健康寿命をのばそう！アワード」厚生労働大臣最優秀賞を受賞に尽力  
○国の厚生労働科学研究班の協力  
平成14年から16年「すこやか親子21計画推進研究班」協力員  
○平成21年3月「第12回秩父宮妃記念結核予防功労賞」受賞